上野村：全村！全力！全活用！～脱炭素がつなぎ、脱炭素で輝く地域コミュニティ～

環境省

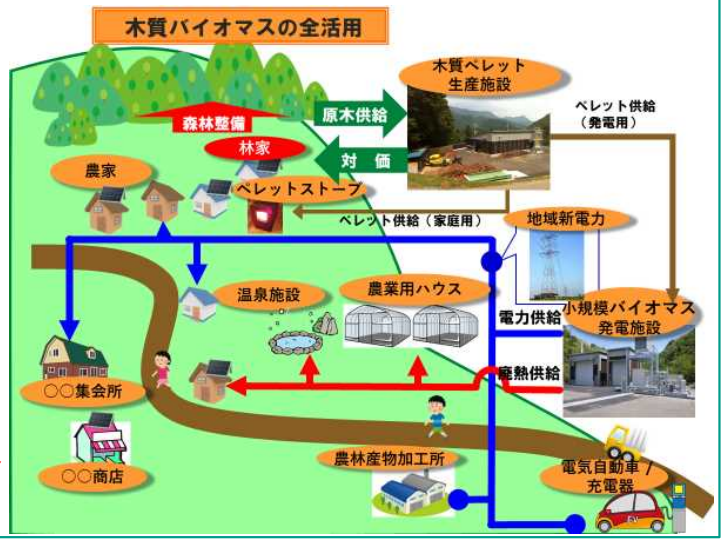
脱炭素先行地域の対象：**村全域**
主なエネルギー需要家：村営住宅48棟149戸、戸建住宅351戸、民間施設13施設、公共施設18施設

取組の全体像

村の総面積の95%を占め、豊富な地域資源である**森林を最大限活用**して、木質バイオマス熱電併給設備を導入するとともに、太陽光発電・蓄電池を最大限導入し、**村全域の脱炭素化**を実現。また、東京電力パワーグリッドとの連携により、地域防災施設を中心とした**複数の地域マイクログリッド**を構築して、村全体のレジリエンスを強化。木質バイオマスの有効活用を通じて、**林業の再生**を図るとともに、**エネルギーコストの削減**や**安心・安全でエコな生活環境**を提供し、**移住者の増加・定住**を促進。

1．民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

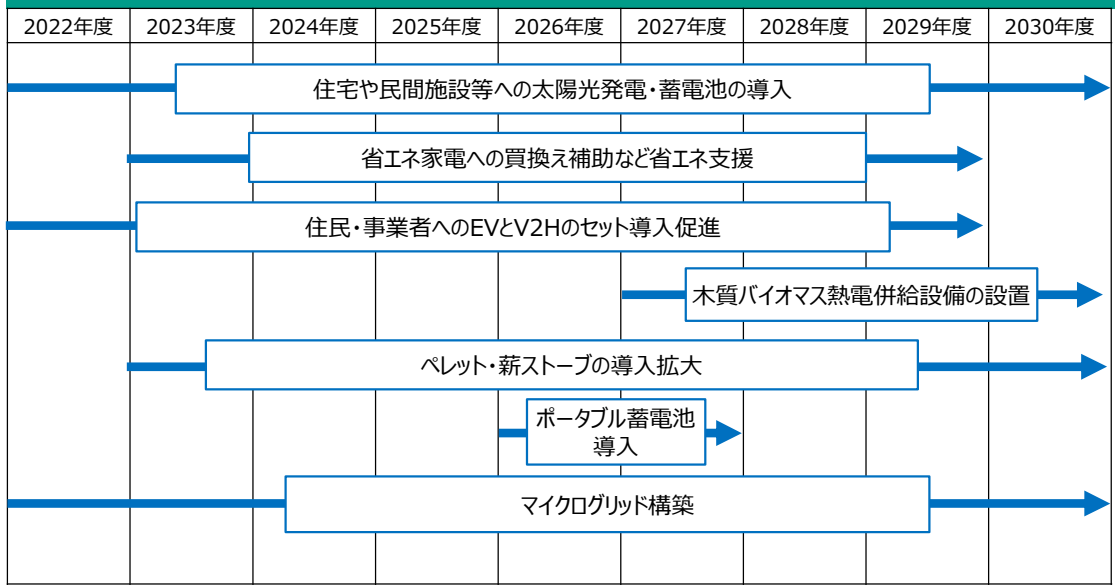
① 村全域の**住宅や民間施設等に**太陽光発電(2,360kW)・蓄電池を導入し自家消費するとともに、既存の地域新電力「**中之条パワー**」が再エネ電力を供給
② 住宅に対して**省エネ家電への買い替え**や窓・ドア等の**断熱改修等の支援**を実施
③ 村内の主な地域防災施設を中心とし、系統を利用した複数の**地域マイクログリッド**を構築



2．民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① 役場新庁舎、道の駅等に**木質バイオマス熱電併給設備**(50kW×２台、25kW×３台)を導入して自家利用するとともに、余剰熱は周辺住宅等に供給し、夜間余剰電力は蓄電してEV充電ステーションに活用
② 村内の森林の60%以上を占める**広葉樹と未利用材をチップ燃料**として活用。また、住宅への**木質ペレットストーブ**や**薪ストーブ**(計80台)の導入を支援

3．取組により期待される主な効果

① **森林資源**を木質バイオマスの原材料として**最大限活用**するとともに、林道の路網整備や林業従事者の確保・育成を進め、事業基盤の強化により**林業の再生**を図る
② 全ての村営住宅等への太陽光発電・蓄電池の導入や**地域マイクログリッドの構築**により**レジリエンスを強化**するとともに、今後の住宅モデルとなるZEH対応型の村営住宅の新設等により、**村の魅力度・満足度を向上**し、**移住者の増加・定住**を促進

4．主な取組のスケジュール